

お詫びと訂正

弊社刊行の『2014 精神保健福祉士国家試験過去問解説集 第13回—第15回全問完全解説』の本文中、以下の箇所に誤りがございました。お詫びして、訂正させていただきます。（2013年9月6日更新）

該当頁	該当箇所	誤	正	備考
107 頁	選択肢 2 の解説文 4 行目	<u>除々</u> に	<u>徐々</u> に	2013/09/06 更新
163 頁	選択肢 4 の解説文 1 行目	次世代育成支援対策法	次世代育成支援対策 <u>推進</u> 法	
171 頁	選択肢 1 の解説文 3 行目	待 <u>機</u> 期間	待 <u>期</u> 期間	
333 頁	選択肢 3 の解説文 1 行目	「平成 20 年度住民参加型在宅福祉サービス活動実態調査」	「平成 20 年度住民参加型在宅福祉サービス <u>団体</u> 活動実態調査」	
	選択肢 5 の解説文 4 行目	「閲覧の請求があったときは、（中略）これを閲覧させ、又は謄写させなければならない」	「 <u>所轄庁は、（中略）</u> 閲覧 <u>又は謄写</u> の請求があったときは、（中略）これを閲覧させ、又は謄写させなければならない」	
362 頁	選択肢 2 の解説文 1～2 行目	<u>「国民生活基礎調査」(平成 22 年)によれば、「子どもがいる現役世帯」(世帯主が 18 歳以上 65 歳未満の世帯)の貧困率において、「大人が一人」の世帯(父子世帯・母子世帯)で 50.8%となっている。</u>	<u>OECD の「SOCIETY AT A GLANCE 2009」によれば、わが国の一人親世帯の相対的貧困率は無業の親で 60%、有業の親で 58%である。</u>	